



「不屈」No561 付録
埼玉版 (No389)

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
埼玉県本部

〒330-0063

さいたま市浦和区高砂

2-3-10 黒澤ビル3B

電話 048-824-0094

振替 00110-7-83245

「伊藤千代子の不屈の生涯」学び、拡げ 署名も会員拡大も 飛躍的前進を！

—— 第一回理事会 開催 ——



2月21日、さいたま市浦和コミュニティセンター14集会室に於いて第一回県本部理事会が開かれました。第一部は、伊藤千代子の学習会を行い、理事でない方も含めて25名が参加しました。加藤ユリ副会長の司会で進められ、最初に「伊藤千代子の生涯」DVDを視聴した後、藤田廣登氏が講演(2頁に記事掲載されました)。

講演後の質疑応答では、「千代子の生き方に感動した」話や「映画づくり」の話が出され、埼玉としても、積極的に「千代子」を学び、顕彰し、映画づくりに取り組む

〈国会請願三項目〉

①国は治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること

②国は治安維持法犠牲者に対して謝罪と賠償をすること

③国は治安維持法による犠牲の実態を調査して国民に公表すること

んでいくことが確認されました。

休憩後、「理事会」に入り、議長に大野辰夫さんを選出し、議事を進行。

矢島恒夫会長が挨拶

矢島会長はあいさつで、安倍内閣を引き継いだ菅内閣が、改憲問題でも、学術会議任命拒否問題でも極めて危険性な内閣であることが露呈された。また、森会長の女性蔑視発言、コロナ対策に「無理無策」、官僚の接待問題など次々に問題が明るみに出され、国民の怒りが沸騰してきている。いま正に、「同盟が頑張る時だ」と強調。「署名、会員拡大、支部づくり、そして、伊藤千代子の映画でも頑張ろう」と呼びかけました。

岩田治樹事務局長が報告と提案

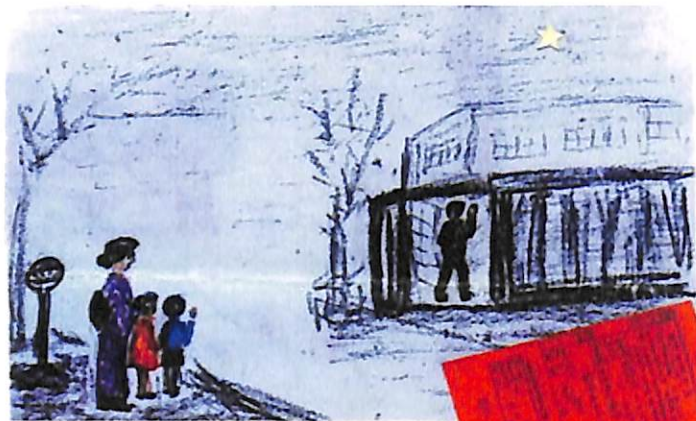
次いで、岩田事務局長からは、理事会への報告と提案がされました。冒頭、本理事会の目的は、「三カ月後に迫った『国会請願』(5月12日予定)までの県同盟の重点活動についての意思(次ページへ)

熱風

今から93年前の3月15日、時の政府は「治安維持法」による大弾圧を行いました。「3・15事件」です。

あの治安維持法下の暗黒時代、侵略戦争に反対し、

主権在民を主張する人々を、容赦ない弾圧で抑え込み、国民を侵略戦争へと駆り立てたのです▼「今でも悔やまれるのは、共産党を治安維持法で押さえつけたことだ。いまのように自由にしておくべきではなかったか。そうすれば戦争が起きなかったのではあるまいか」この言葉は、「最後の海軍大将」井上成美が、戦後、自戒を込めて親友に語った言葉です▼国賠同盟は「3・15事件」から40年後の一九六八年3月15日に設立して以来、犠牲者の名誉回復の為に活動を続け、集めた署名は1千万筆にのぼります。韓国では、日本と同じ治安維持法で弾圧された犠牲者を愛国者として表彰し、年金を支給しているのに、日本では未だに名誉回復、被害救済は実現していないところに、「戦後日本政治の後進性」があります▼いま、「3・15事件」の犠牲者のひとりである「伊藤千代子」の映画づくりが始まっています。千代子の「不屈の生涯」を学び、顕彰することがますます必要な時代です。(池)



私の戦争体験

第1回

絵と文

長澤 志保子

読者のひろば

＊戦後七五年経ち、戦争体験を語れる方が少なくなる中、春日部支部の長澤志保子さん(八四歳)から貴重な「戦争体験」が、自作の絵と合わせて寄せられました。6回に分けて掲載させて頂きます。(編集部)

① 第二次世界大戦始まる

召集令状

一九四一年十二月八日、私が五才の時、日本はアメリカの真珠湾を攻撃して、太平洋での戦争に入りました。戦争に批判的だった私の父には、すぐに召集令状(赤紙)が来て、二六日に兵隊として家を出ました。年老いた祖父と妻と私たち五人の子供を残して。

母と私と弟で目黒の兵舎に面会に行きました。終わって帰り、父のうしろ姿を見送りました。まだ五歳だった私は、その時の気持は覚えていませんが、母はどんなにか心細かったでしょう。

母が遺していた日記に、次のような短歌がありました。

面会に君に別れてバス待てば
兵舎の屋根に 星ひとつ芽ゆ



② 四谷小学校 入学

一九四三年小学校(国民学校と言った)に入学しました。私の家は四谷にあつたので、戦争の中心となる大本営に近かつたため、軍人さんが通ると、日の丸の旗や連隊旗を持つて四谷駅前の道路に並んで旗振りをしました。学校では毎朝の朝礼で、宮城の方向を向き敬礼しました。

軍隊で兵隊さんたちが使った手旗信号(両手を使って、

イ、ロ、ハ...)を教えられました。

家には、千葉の鋸山に近くから家事、育児の手伝いに二人のお姉さんが一緒に暮らしていましたが、その内一人の方が東京に爆弾が落ちると、ちよつと家に行ったまま帰ってきませんでした。私たちも祖父を残して、千葉市の蘇我町に疎開してきまし

(次号に続く)

☆原稿募集!

「読者のひろば」欄を設けました。「不屈」読者のみなさんが、日頃感じている事ちよつとみんなに知ってほしい事など四〇〇字程で気軽にお寄せください。また、戦争体験者の話や「犠牲者」の顕彰に関わる情報などがありましたらお知らせください。(編集部)

統一にある」と述べ、昨年9月以降の活動の到達を7項目について報告。財政活動など進んだ経験もあるが、会員拡大、支部づくり、署名の取り組みは、コロナの影響もあり全体として遅れていることが報告されました。

「春を呼ぶぞい」(4月29日)、「特別期間」3月15日を設定

次いで、5月の国会請願行動までの方針六項目(①国会請願署名、②会員拡大、③支部づくり、④顕彰活動、⑤出版物の普及、⑥映画「伊藤千代子の生涯」が提起され、県本部としては、これらの課題を進めるためにも、4月には「春をよぶぞい」を開催する事、そして、署名と会員拡大を進めるため、3月15日から「組織拡大特別期間」を設定することが提起されました。そして討論に入り、7名の方から積極的な発言がされました。

矢島会長は発言のまとめに立ち、「皆様の貴重な意見を今後の県本部の活動に生かして頑張っていきたい」と述べました。最後に、松下裕副会長は、「千代子に学んで攻勢的に闘おう」と閉会の挨拶を述べ、散会しました。

藤田氏「伊藤千代子」を大いに語る

理事会に先立ち、「千代子研究」の第一人者で、映画「伊藤千代子」の元本の著者である藤田廣登氏(同盟中央本部顧問)を招いて学習会を行いました。

藤田氏は、千代子が、特高警察の弾圧・拷問・獄中発症の困難、夫の変節に耐えながら、なお闘いの炎を燃やし続けた「不屈の生涯」を、千代子の獄中からの手紙など資料をふんだんに使って講演されました。

そして、千代子の様な「治安維持法犠牲者」に対し、未だ謝罪をしていない日本政府を批判。「国賠同盟」運動の必要性が強調され、この様な時期に、千代子に新たな光を当て、その生きざまを描く映画化運動が進められ、元前進座の嵐圭史さん、女優の竹下景子さんの出演も決まり、撮影も10月には始まる。



地縛りの花

同盟文芸

短歌

治安維持法の犠牲となりし伊藤千代子の映画化の準備わくわくするなり

百年前千代子掲げしエンダー平等女性たちは今声上げている
日頃より口ふさがれし女性たち女性蔑視のトップを辞任させたり

川口市 宮地 さか枝

俳句

春来る多喜二・千代子想い馳せ
千代出番地縛りの花春を呼ぶ
行田市 大野 辰男
ペタル踏み八十路の脚が春運ぶ
春の陣マスク群像溢れくる
さいたま市 小池 莊市

川柳

性差別ノ一全豪なおみ風光る
反戦のなかにし礼の声残響
春日部市 福家 駿吉

いま好評の季刊誌 定期購読者募集中



季刊「治安維持法と現代」
創刊二〇周年記念特集号
好評販売中! 一部千円
春(四月)、秋(十月)発行
申込は、県本部へ
FAX 048-824-0094

自・共・公助そしてアメリカとの絆
忘れっぽいほど官僚は出世する
小鹿野町 高田 哲郎
作ろうよ伊藤千代子の劇映画
さあ五月国会請願スパートへ
行田市 大野 辰男
【係からのお知らせ】
文芸欄へのご投稿ありがとうございます。
ざいます。初心者大歓迎です。
毎月25日までに「県本部まで」
お寄せください。メールの方は、
lorokoike@yahoo.co.jp 小池まで

「軍国主義復活許さぬ」

2・11県民集会開く

「建国記念日」不承認・軍国主義思想の復活に反対し思想と信教の自由を守る2・11埼玉県民集会が、さいたま市で開かれまし
た。主催は国賠同盟埼玉県本部も含む25団体が参加する実行委員会。講演は、「菅政権の危険な狙いと私たちの取り組み」と題し、日朝協会埼玉県連会長の関原正裕さんが行いました。参加者は、コロナ対策も徹底する中で、オンラインも含め、百名を超える

方々が参加され、国賠同盟からも4名が参加しました。

関原さんは、菅首相による日本学術会議人事介入問題の背景には、学術会議が創設時から軍事研究を拒否していることがあると指摘。「軍事研究はすべきでない」という倫理観を科学者の中に広げ、世論をつくる必要がある。9条改憲反対運動は科学者の良心を支え、励ますことにつながる」と強調。この点に関連し、戦前の「学問の自由」弾圧の事例として一九三三年の滝川事件が想起されるとし、当時の日本社会は

治安維持法検挙数がピーク、「司法官赤化事件」、「教員赤化事件」などにもふれながら、滝川幸辰の刑法学説も「赤化思想」として弾圧の対象となつたことなどを告発し

思想統制、学問の弾圧は侵略戦争への道と言うのが歴史の教訓であると強調されました。



3・15、4・16 記念行事

“春をよぶ集い” にお越しく下さい

・とき：4月29日(祝)14時

・ところ：埼玉会館 3C会議室

歴史を改ざんし、侵略戦争と植民地支配を美化する歴史逆行の政治を進めてきた安倍政権を継承した菅政権は、更に、学術会議「人事介入」に見られるように「強権政治」を進めています。このような危険な政権を一日も早く終わらせる為にも、いま、戦前の暗黒時代に不屈にたたかった人々から学ぶことは大切ではないでしょうか。

主なプログラム

・**広井 暢子**さん(日本共産党 常任幹部会委員)

記念講演「人間の尊厳、ジェンダー平等をめざ

して不屈にたたかった人々」(仮題)

・劇映画「伊藤千代子の生涯」(仮題)の

総監督 **桂 壮三郎**氏のお話

・会場からの発言

主催：治安維持法国賠同盟 埼玉県本部

*コロナ下ですが、充分注意して開催致します。

国会請願署名推進コーナー

【個人署名】

行田・羽生支部 139筆

高田哲郎 小鹿野町 20筆

埼玉連グループ 8筆

合計

個人署名 1545筆

団体署名 42筆

*署名が集まったら「県本部」迄ご連絡ください。

募金ありがとうございます

横田正利、古江昌江、小室仁弥、

倉又孝夫、(前号からの続き・敬称略)

【財政部からお礼とお願い】

*コロナ禍の中、「年末の財政活動」にご協力ありがとうございました。お陰様で、募金も会費も前年度の実績を上回ることが出来ました。

なお、二〇二〇年度の会費納入がお済でない方は、三月末までに宜しくお願い致します。